

## 平成29年度6月補正予算案のポイント

- 飯山市井出川山腹崩落災害に対応するため、国の災害関連緊急事業により砂防施設を設置。
- 県消防防災ヘリコプターの墜落事故後の状況を踏まえ、夏以降の本格的な登山シーズンを前に山岳遭難対策を強化。
- ふるさと信州寄付金や国の委託事業を活用し教育環境の充実を図るとともに、地域経済の活性化に向け、上田市と共にラグビーワールドカップ2019™の事前キャンプを誘致。

### 《補正予算案の主な内容》

#### ◎ 飯山市井出川山腹崩落災害等への対応

飯山市井出川山腹崩落災害による土石流災害から地域住民の生命財産を守るため、今後の土石流被害に備え新たな砂防堰堤を設置するほか、残雪による農作業の遅延を防止する町村の取組を支援

#### ◎ 山岳遭難防止のための取組

信州の山を訪れる登山者の安全を確保するため、関係機関と連携した啓発活動や山岳遭難の未然防止を目的としたパトロール体制を強化するほか、遭難者に対する迅速な救助の実現に向け、救助用装備品の高度化を推進

#### ◎ 教育環境の充実

将来を担う次世代の人材を育成するため、公共交通機関を活用した児童生徒の学習活動を推進するとともに、学校教育における教員の資質向上や長時間勤務の改善に取り組むほか、新県立大学設立に伴う法定の評価委員会を設置

#### ◎ 地域経済の活性化

地域の活力を向上させるため、ラグビーワールドカップ2019™公認キャンプ地に応募している上田市とともに事前キャンプの誘致に取り組むほか、県内企業の経営革新や働き方改革等を促進するため、県内企業と大都市圏等の専門人材とのマッチングを実施

◎ 補正予算額

6億9017万1千円

## ◎ 飯山市井出川山腹崩落災害等への対応

**土石流災害から住民の生命・財産を守るための砂防堰堤を設置 5億500万円** <建設部>

飯山市井出川山腹崩落災害への恒久対策として、土石流災害から住民の生命・財産を守るため早急に砂防堰堤を設置

**残雪による農作業の遅延を防ぐ取組への支援 273万5千円** <農政部>

残雪による農作業の遅延を防止するため、町村が行う消雪剤の購入や除雪用ブルドーザーの借上げ等を支援

- ・事業主体：4町村
- ・補助率：5/10以内

## ◎ 山岳遭難防止のための取組

**(新) 山岳遭難を未然に防止するための特別対策 530万4千円** <観光部>

県内山岳における遭難の未然防止のため、山中でのパトロール活動の強化や遭難リスク表示マップの作成などの特別対策を実施

- ・事業主体 長野県山岳遭難防止対策協会

[7月～12月の遭難件数 179件(平成28年)→159件(平成29年)]

**登山者の安全対策の推進 669万円** <警察本部>

信州の山を訪れる登山者の安全を確保するため、パトロール体制の強化や救助用装備品の高度化を推進

- ・山岳高原パトロール隊員の増員
- ・自動式ザイルウィンチ(2台)の導入

[遭難件数の減少及び迅速な救助活動の実施:(平成29年度)]

## ◎ 教育環境の充実

**(新) 公共交通機関を活用した学習活動の推進 189万2千円** <教育委員会>

探究的学びを推進するため、株式会社しなの鉄道と連携し、公共交通機関を活用した学習活動を実施

- ・しなの鉄道20周年に併せて、地域振興と鉄道の未来をテーマとしたプレゼン大会等を開催
- ・県内高校生の自由な発想による列車を活用したイベントトレインを開催
- ・高校生の映像作成による車内マナー向上コンテストを開催

[「学習の場」として鉄道を活用し、地域を学ぶ県立高校数:8校(平成29年度)]

**(新) 教職員の資質能力の向上を推進 402万2千円** <教育委員会>

教員が自らの資質能力を生涯にわたって高めていくことができる仕組みを構築するため、民間事業者が持つ知見を活用した新たな教育課題に対応する教育プログラムを開発するとともに、各大学、教職大学院と連携・協働して研修体系を再構築

- ・PBL(Project-Based Learning)及びチームマネジメントの研修プログラム開発
- ・教員が自らの資質能力を生涯にわたって高めていくための研修体系再構築

[研修プログラムの開発:(平成29年度)]

[研修体系の再構築:(平成29年度)]

**(新) 教職員の長時間勤務の改善 779万2千円**

〈教育委員会〉

教職員の長時間勤務を改善するため、「学校業務改善推進協議会」を組織し、部活動指導の負担軽減や校務支援システムの効果等について研究を実施

- ・具体的な評価指標を加えた「長野県小中学校業務改善ポリシー(仮名)」の策定
- ・モデル市町村、モデル校を指定し、業務改善の取組について研究を実施
- ・モデル市町村をはじめとした県内外の優れた取組をまとめた実践事例集の作成・配布

〔時間外勤務1人あたり45時間以下(12月期)の学校数:200校以上(平成29年度)〕

**(新) 公立大学法人長野県立大学評価委員会の設置 46万8千円**

〈総務部〉

公立大学法人長野県立大学を平成30年4月に設立することに伴い、地方独立行政法人法に規定する評価委員会を設置

- ・中期目標の作成に係る意見の聴取
- ・中期計画の認可に係る意見の聴取 など

**◎ 地域経済の活性化**

**(新) 公認キャンプ誘致に向けた事前キャンプ誘致の推進 500万円**

〈観光部〉

ラグビーワールドカップ2019™に向けて、県内で公認キャンプ地に応募している上田市と共に、公認キャンプ誘致につなげるため、県を挙げた事前キャンプ誘致活動を展開

- ・「上田市菅平高原キャンプ地誘致委員会」への負担金
- ・海外での現地プレゼン活動の実施、キャンプ地視察の受入、事前キャンプ地決定調印式の実施

〔誘致国数:1か国(平成29年度)〕

**プロフェッショナル人材の誘致 2000万円**

〈産業労働部〉

県内企業の経営革新や働き方改革等を促進するため、「長野県プロフェッショナル人材戦略拠点」において、県内企業と大都市圏等の専門人材とのマッチングを実施

- ・県内企業の人材ニーズの把握、人材ビジネス事業者等と連携した専門人材のマッチング

〔コーディネート件数:350件(平成29年度)〕

**◎ 市町村との新たな連携の推進**

**木曽地域の広域的な課題に対応するための方策を検討 710万円**

〈企画振興部〉

定住自立圏など広域連携に対する国の支援制度が適用されない木曽地域における広域的な地域課題に対応するための方策を、県と町村が連携して検討

- ・移住促進のための情報発信コンテンツの作成
- ・木曽路の眺望景観整備のための修景イメージ画像の作成
- ・路線バスの共同運行の試行 など

〔「木曽地域広域連携ビジョン(仮称)」の策定:(平成29年度)〕

**◎ その他**

**消防防災航空隊殉職者の顕彰 1億2240万円**

〈危機管理部〉

殉職した消防防災航空隊員の功績を顕彰